

2018年度 中学受験

〈必読〉 受験心得

～入試前日・入試当日に気をつけるべきこと～



【1】「入試前日の準備」(持ち物チェックリスト)

準備すべきもの	分量	注意点
受験票	-	併願校の受験票と間違えないように！
鉛筆	10本以上	「HB」や「B」などの濃く、長いもの。1教科につき2・3本が目安です。
消しゴム	2～3個	直方体で大きいものを2・3個用意しておきましょう。
定規・コンパス 三角定規・分度器	1・2本	学校によっては持ち込み不可の場合あり。不可の場合は、付添い方に預かってもらいましょう。
参考書	1・2冊	使い慣れたもの。沢山持っていけないように！
受験心得	-	「入試10分前に読むべきこと」も書かれていますので持参しましょう。
上履き	1足	学校から持参の指示がある場合のみ。下足袋も必要です。
ひざかけ・厚手の靴下 カイロ・手袋・マスク	必要数	会場が寒い場合もあるので適宜用意しましょう。試験会場にはいろんな人がいます。予防するに越した事はありません。
ティッシュ・ハンカチ ハンディタオル	必要数	ポケットティッシュは2・3個あった方が便利です。
時計	1・2個	アラームはあらかじめ消しておく。特殊なものは会場で使用が禁止されることがあります。時計機能以外のものがついているものは持参しないようにしましょう。
昼食	-	学校指定の場合のみ。消化の良いものにしましょう。
お金(財布)	必要な金額	あらかじめ交通費がいくらかかるかを調べ、少し多めに準備しましょう。タクシー利用の可能性も考慮しておきましょう。
携帯電話 (スマートフォン)	-	会場内使用禁止の場合があります。会場に持ち込む場合は、電源をあらかじめ消しておきましょう。会場での指示があれば、それに従いましょう。
緊急連絡先	-	保護者の携帯番号や自宅の電話番号をひかえておきましょう。この「受験生心得」の裏面に記入箇所を作りました。利用しましょう。

★ワンポイント・アドバイス！【受験当日の服装】

「できるだけ楽に試験が受けられる服装」で受験しましょう。入試会場の室温が高い場合もあるので、すぐに脱いだりできる「重ね着」をお勧めします。

面接試験がある場合でも、新調した服でなくても大丈夫です。通っている小学校に学校指定の制服がある場合は、制服を着用しましょう。

また、予想外の大雪などになる場合もあります。替えの靴下などを念のため用意しておきましょう。

【2】「入試当日」(自宅～試験会場到着までの注意点)

Q. 試験会場に着いたら、まずは何をしたら…？

回答. 学校に着いたら、定められた場所で指示されるまで静かに待ちます。トイレは混雑している場合がありますので、早めに済ませておきましょう。

試験を受ける席についたら、机や椅子がガタガタしていないか、落書きがないかどうかを見ましょう。もしそうなっているなら試験監督の先生に必ず伝えましょう。試験が始まってからだと対応してもらえません。

Q. 休憩時間の上手な過ごし方は…？

回答. 終了した科目は、休憩時間で答え合わせをしないようにしましょう。次の科目に向けて頭を切り替えましょう。

昼食時間がある場合は、食欲がなくても必ず何か食べるようにしましょう。

【3】「入試 10 分前に最終確認！合格答案作成のための必須 5 ヶ条」

その 1：「出来る問題・「やさしい問題」・「分かる問題」から確実に解答する！

入試は「時間との戦い」。制限時間内に出来るだけ多くの問題を解くことが合格の絶対条件！
難しい問題に時間をかけ過ぎることがないように！

その 2：「設問（問題）に沿った解答」をしているかを再確認！

出来たと思っても、設問（問題）で求められている解答でなければ「0点」です。
「記号で解答するのか」、「単位は正しいか」、「問題を読み飛ばしていないか」を何度も確認！

その 3：「自分が出来ない問題」なら、「他の受験生も同じように出来ない！」

難しい問題が出てあせらない！その問題は、ほかの受験生も出来ない。出来る問題を確実に正解する！

その 4：「全ての問題にまずは目を通して」から解答をはじめよう！

テスト終了間際に、まだ問題があることに気付いたり、難しい問題を一問飛ばしたのに、解答欄をつめて書いてしまったり、早とちりによるミスは命取り！問題配布後、必ず全ての問題に目を通して、全体の時間配分を考えてから解答を開始！

その 5：「テスト中は、終わった科目の答え合わせをしない！」

出来なかった科目、問題があっても、次の科目のテストが始まります。すぐに気持ちを切り替え、次の科目の準備！出来ない科目があつたとしても、合格は出来る！

★ワンポイント・アドバイス！【合格のため！】

これまで、入試当日をイメージしながら過去問演習を行ってきました。

入試で一番気をつけないといけないことは、「平常心を失い練習通りの方法で解答出来ないこと」や「ケアレスミスが多く発生してしまうこと」です。

しっかりと練習をして本番に臨んでいます。普段してきた練習通りに解答を進めましょう。また、「見た事がない問題」や「知らない問題」が出題されても、一番大切なことは「決してあわてないこと！」です。

メモ

（保護者の携帯番号、会場の電話番号や住所など大切な情報を念のため書いておこう）



〒171-0031 東京都豊島区目白 1-4-25 目白博物館ビル
教務本部 TEL : 0120-14-3759 FAX : 03-5951-2070